

CBR試験(室内試験結果)

(単位:%)

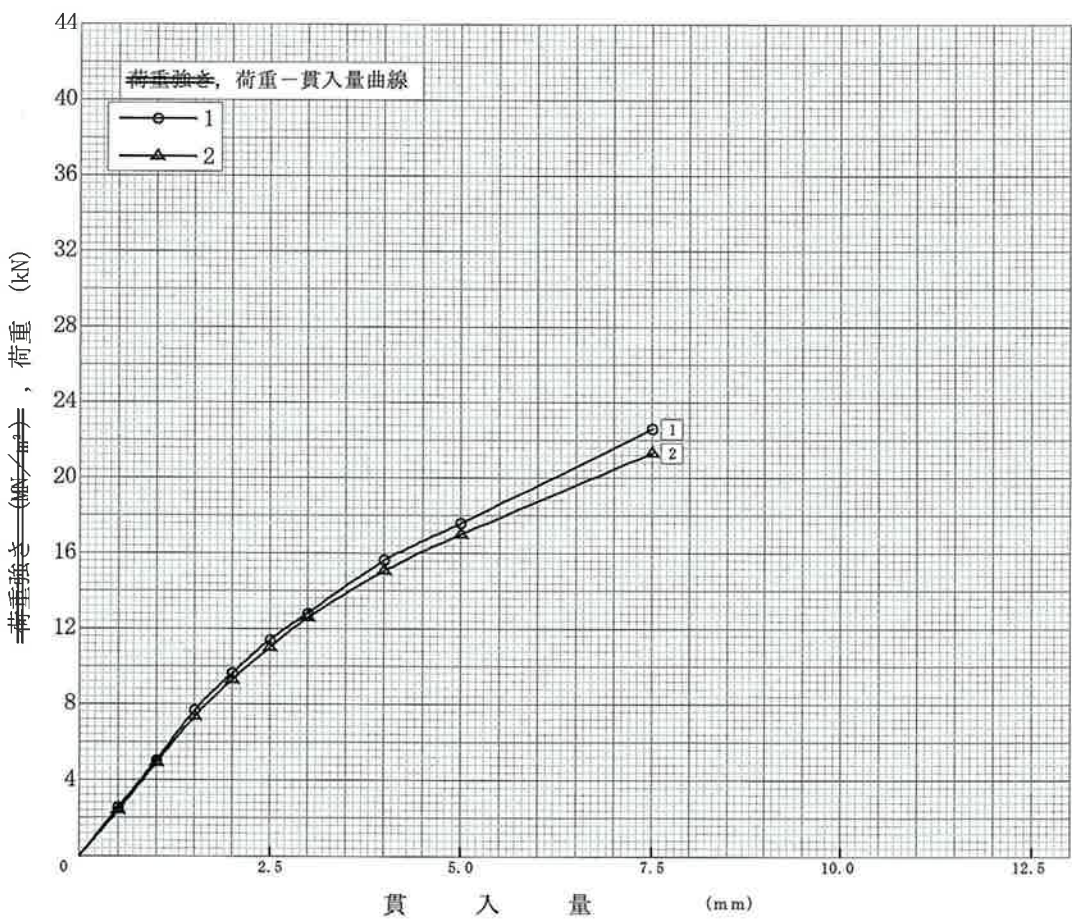
材齡	10	30	60	90	180	360
熔融スラグ入り改良土	87.2	138.7	210.9	262.6	282.9	407.5
改良土	74.8	123.5	153.1	215.4	259.1	352.3

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工) 試験年月日 2012年 3月 26日  
 下層路盤工の試験施工

試料番号(深さ) 混合(改良土:スラグ=70:30) 10日 試験者 小高浜子 小高

試験方法	締固めた土、 <del>乱さない土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	10 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	9.0		9.0	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.994		2.007	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		86.0		82.8	
	貫入量 5.0 mm における CBR %		88.7		85.7	
	C B R %		88.7		85.7	

平均 C B R %  
87.2



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重強さ	供試体 No. 1	11.518 17.659
	供試体 No. 2	11.091 17.053
標準荷重強さ	<del>6.9 10.9</del>	
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 4月 16日

試料番号(深さ) 混合(改良土:スラグ=70:30) 30日

試験者 小高浜子



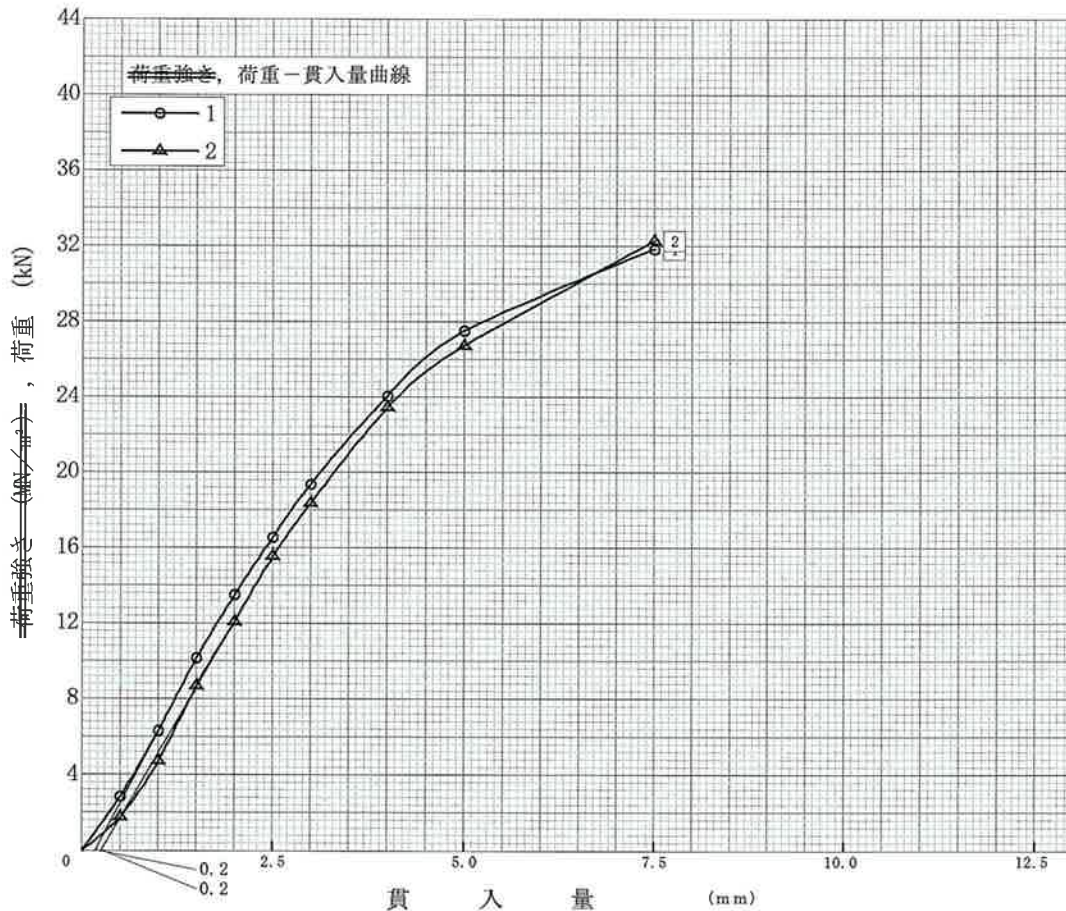
試験方法	締固めた土, <del>乱さない土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法, <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	30 日空气中 日水浸	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
			高さ	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	9.0		9.0	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	2.000		1.999	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		131.3		127.0	
	貫入量 5.0 mm における CBR %		140.0		137.3	
	C B R %		140.0		137.3	

平均 C B R %

138.7

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0	
荷重強さ kN/m <sup>2</sup>	供試体 No. 1	17.592	27.865
	供試体 No. 2	17.024	27.318
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	供試体 No. 1		
	供試体 No. 2		
標準荷重 kN		6.0	10.0
		13.4	19.9



JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 ( 室 内 試 験 結 果 )

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 5月 16日

試料番号(深さ) 混合(改良土:スラグ=70:30) 60日

試験者 小高浜子

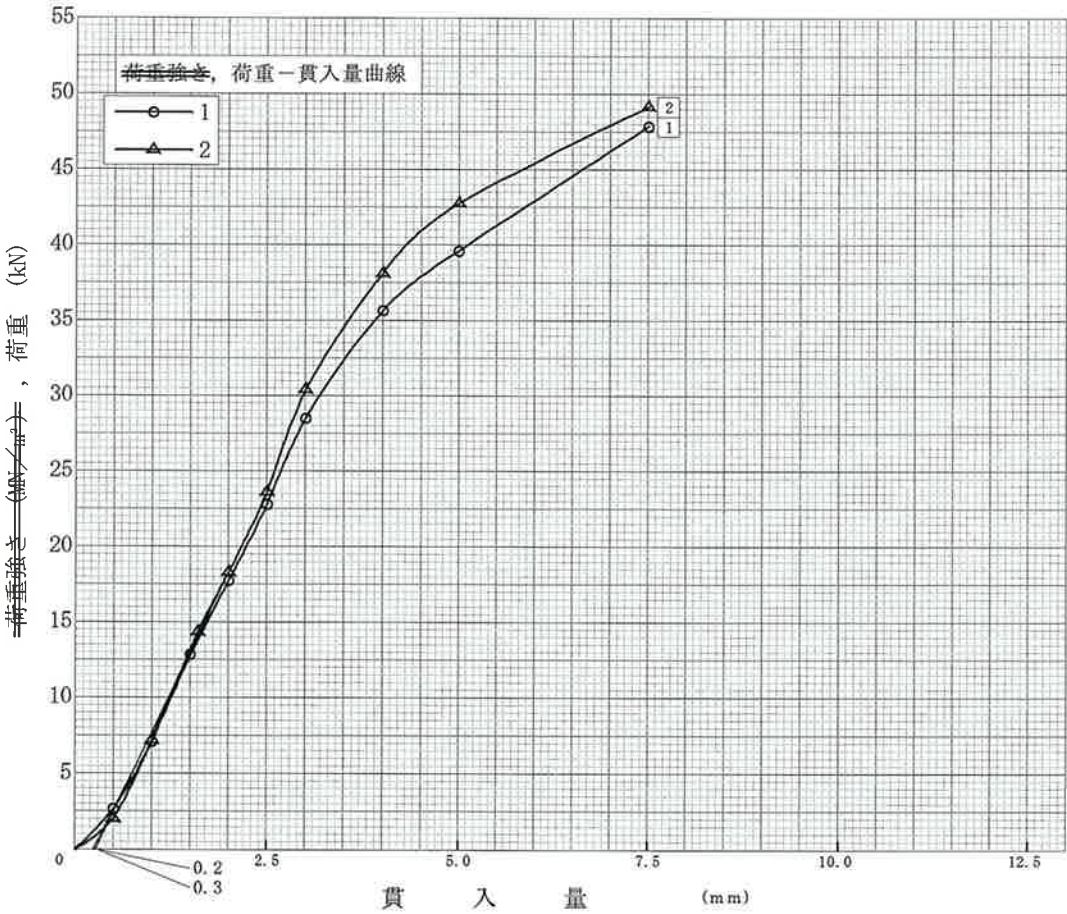


試験方法	締固めた土、 <del>モルタル</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設けCBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	60日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ	cm	12.5	

供試体 No.		1	2	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	9.0	9.0
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	2.007	1.989
	後	膨張比 $r_e$ %		
		平均含水比 $w'$ %		
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>		
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %			
	貫入量 2.5 mm における CBR %		192.4	205.9
	貫入量 5.0 mm における CBR %		203.1	218.7
	CBR %		203.1	218.7

平均 C B R %  
210.9

特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	25.782	40.424
供試体 No. 2	27.595	43.516
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	<del>6.9</del>	<del>10.8</del>
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 6月 15日

試料番号(深さ) 混合(改良土:スラグ=70:30) 90日

試験者 小高浜子



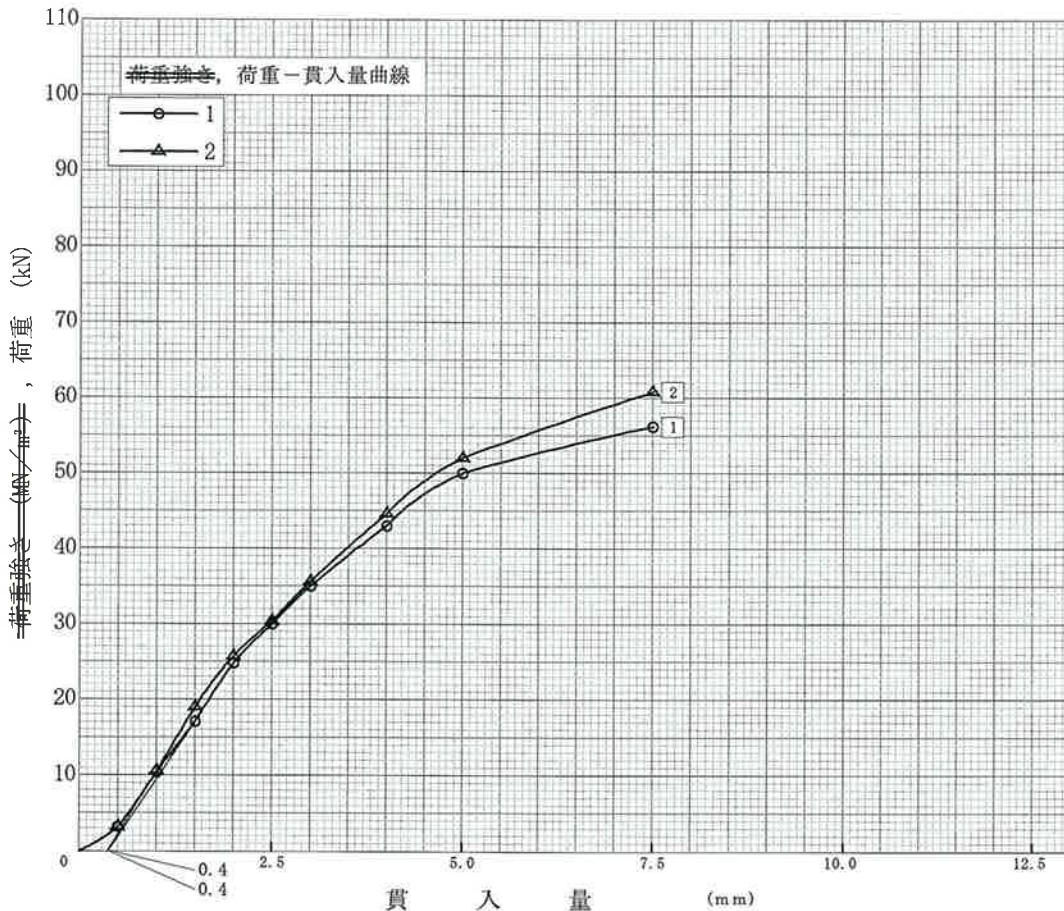
試験方法	締固めた土, <del>モルタル土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法, <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	90日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	9.0		9.0	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.997		2.008	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		252.9		256.3	
	貫入量 5.0 mm における CBR %		256.7		268.5	
	C B R %		256.7		268.5	

平均 C B R %

262.6

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No. 1	33.895	51.077
供試体 No. 2	34.344	53.441
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.8
標準荷重 kN	13.4	19.9



JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 9月 12日

試料番号(深さ) 混合(改良土:スラグ=70:30) 180日

試験者 小高浜子



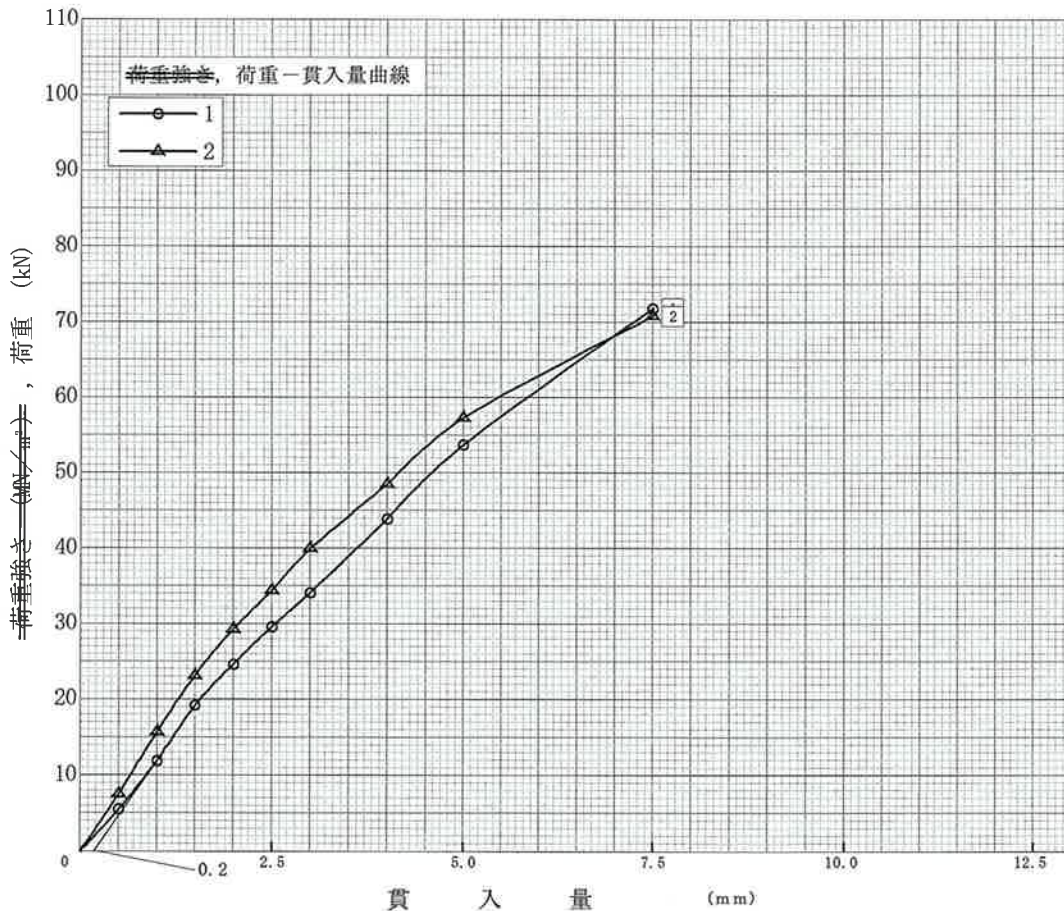
試験方法	締固めた土、 <del>非締固めた土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	180日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	9.0		9.0	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	2.003		1.996	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		232.9		260.0	
	貫入量 5.0 mm における CBR %		276.7		289.1	
	C B R %		276.7		289.1	

平均 C B R %

282.9

特記事項

1) スペーサーディスクの  
高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No. 1	31.205	55.071
供試体 No. 2	34.842	57.531
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.9
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2013年 3月 9日

試料番号(深さ) 混合(改良土:スラグ=70:30) 360日

試験者 小高浜子



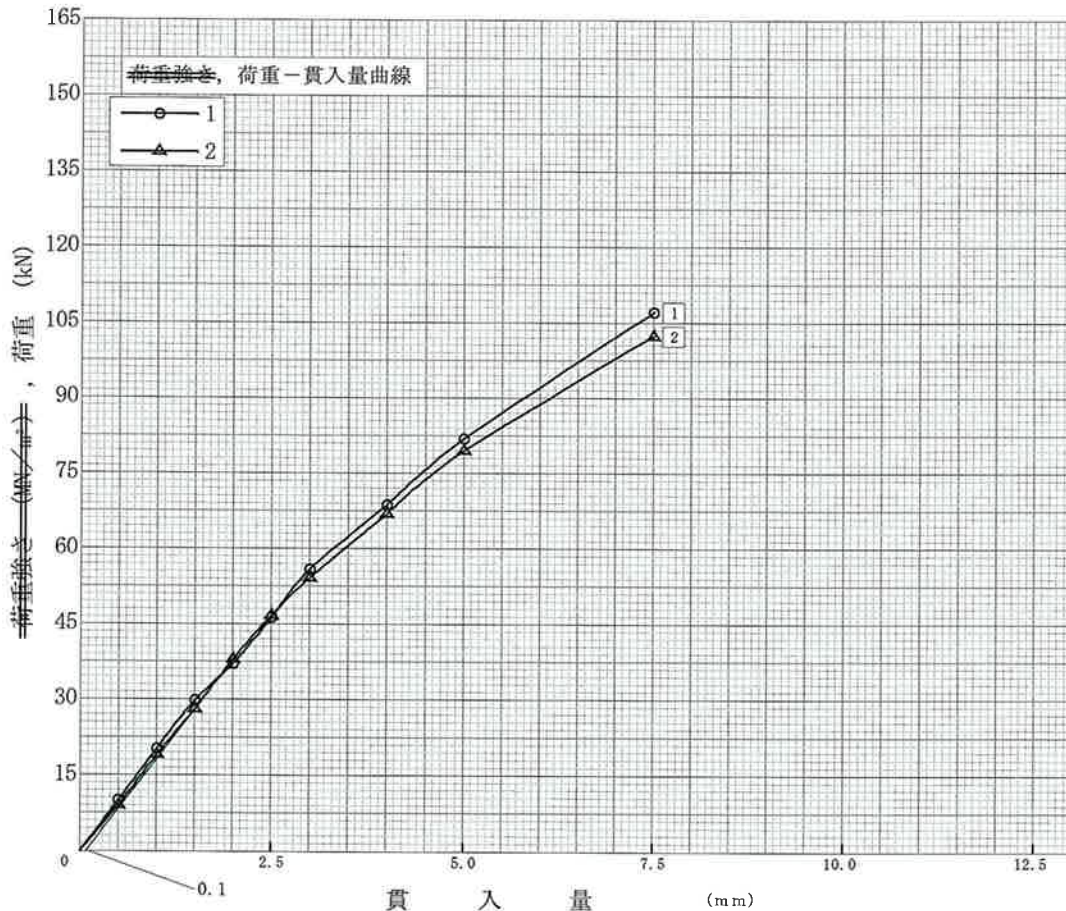
試験方法	締固めた土、 <del>非締固めた土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	360 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	9.0		9.0	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	2.006		1.992	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mmにおける CBR %		345.9		357.9	
	貫入量 5.0 mmにおける CBR %		411.7		403.2	
	C B R %		411.7		403.2	

平均 C B R %

407.5

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重強さ (MN/m <sup>2</sup> )	供試体 No. 1	46.346
	供試体 No. 2	47.957
標準荷重強さ (MN/m <sup>2</sup> )	供試体 No. 1	81.935
	供試体 No. 2	80.239
標準荷重 (kN)	8.0	10.0
標準荷重 (kN)	13.4	19.9



JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟(外構)舗装工  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 3月 24日

試料番号(深さ) 改良土 10日

試験者 小高浜子



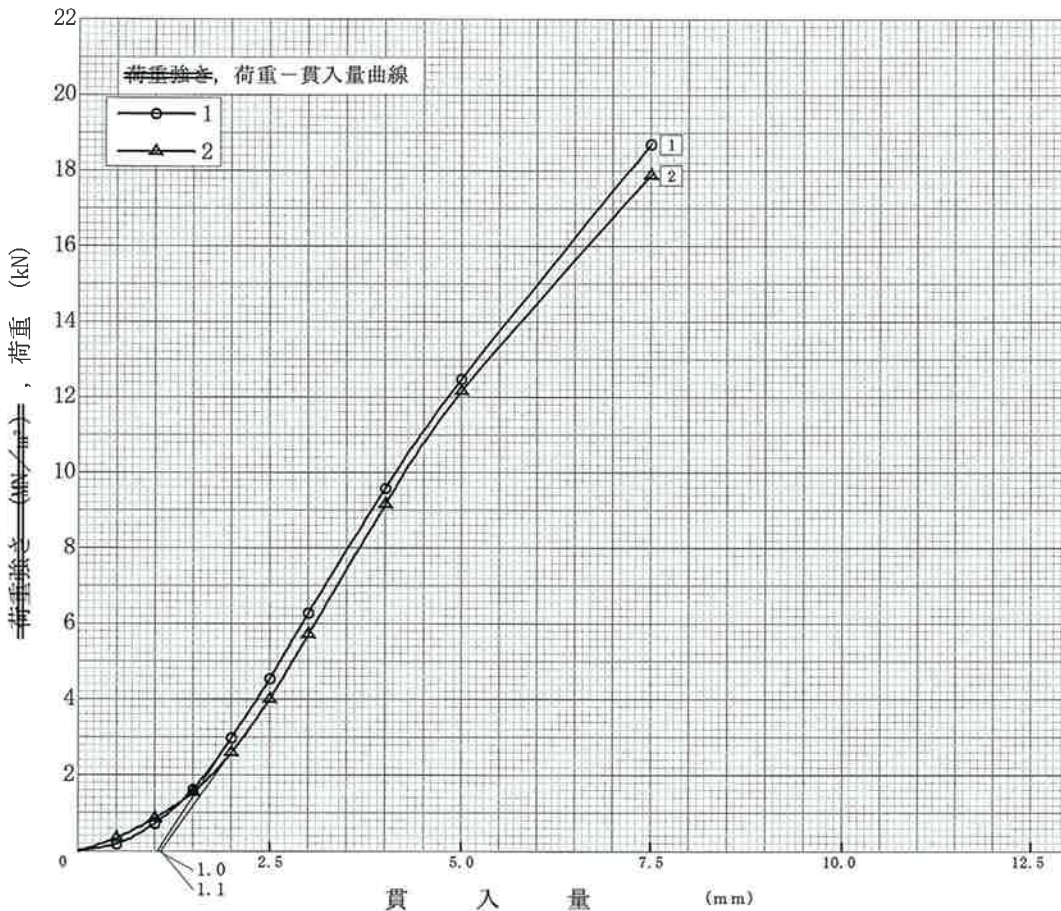
試験方法	締固めた土、 <del>湿りな土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	10日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	12.4	12.4		
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.958	1.987		
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		60.4	57.7		
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		75.8	73.8		
	CBR %		75.8	73.8		

平均 C B R %

74.8

特記事項

1) スペーサーディスクの  
高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重 No. 1	8.097	15.093
	7.730	14.678
荷重 No. 2		
標準荷重 kN	13.4	19.9



JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 4月 13日

試料番号(深さ) 改良土 30日

試験者 小高 浜子



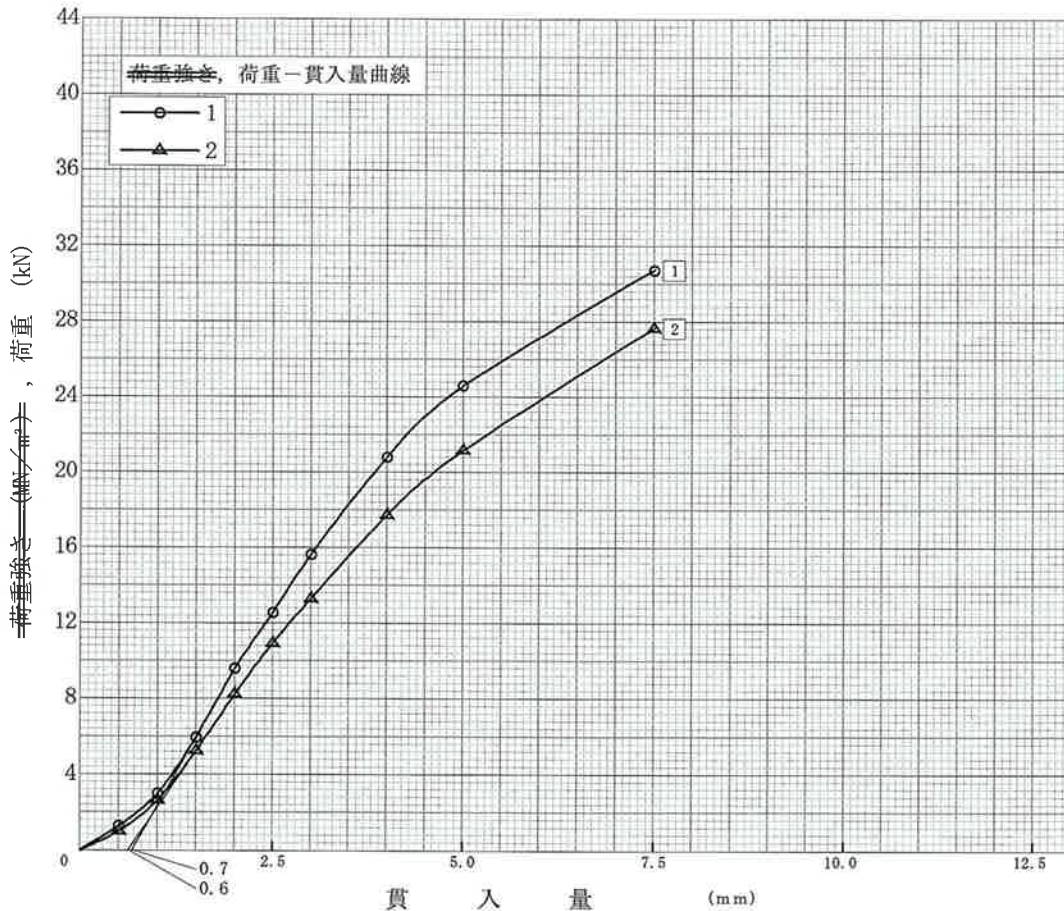
試験方法	締固めた土、 <del>非水浸</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	30日空气中 日水浸	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
			高さ	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	12.4		12.4	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.959		1.959	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		123.9		103.4	
	貫入量 5.0 mm における CBR %		132.3		114.6	
	C B R %		132.3		114.6	

平均 C B R %

123.5

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	16.605	26.320
供試体 No. 2	13.850	22.812
標準荷重強さ		
MN/m <sup>2</sup>	<del>6.9</del>	<del>10.8</del>
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 5月 14日

試料番号(深さ) 改良土 60日

試験者 小高浜子



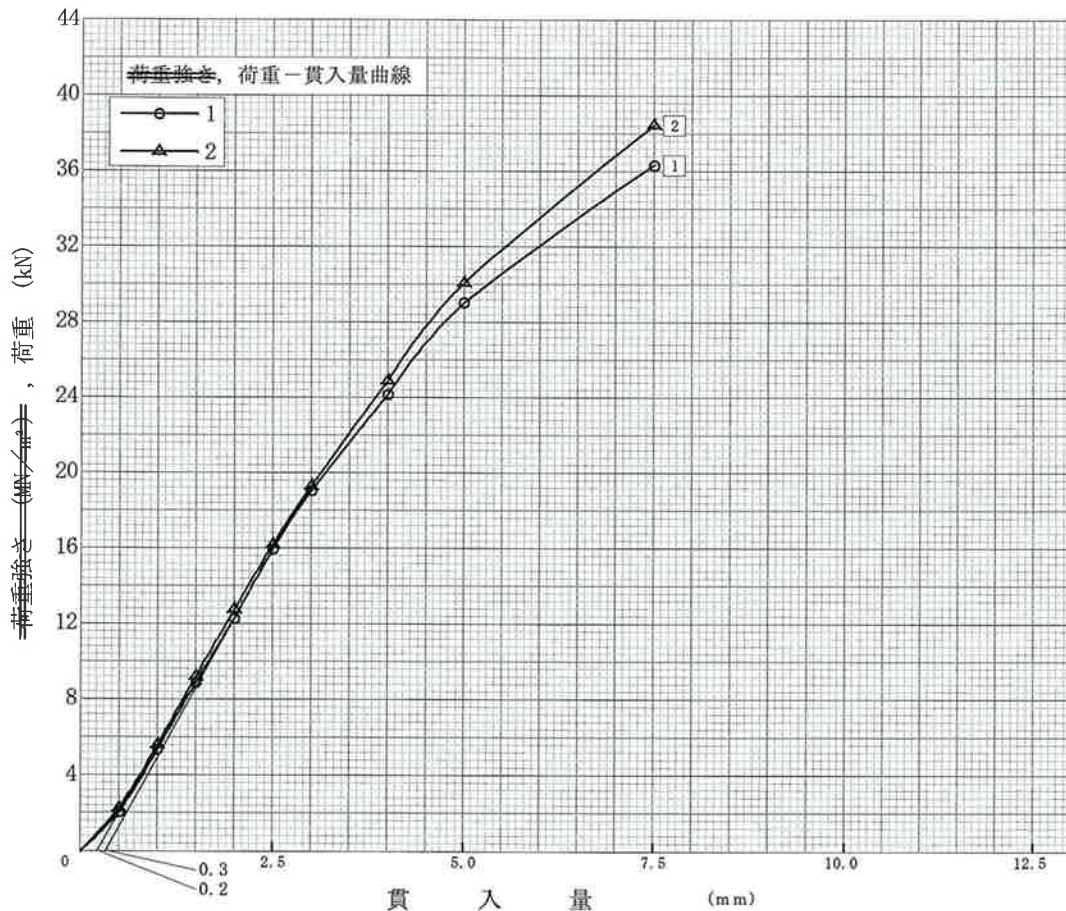
試験方法	締固めた土、 <del>非締固めた土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 、非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	60日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	12.4	12.4		
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.977	1.963		
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		134.8	131.6		
	貫入量 5.0 mm における CBR %		151.0	155.2		
	C B R %		151.0	155.2		

平均 C B R %

153.1

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0	
荷重 (kN)	供試体 No. 1	18.063	30.052
	供試体 No. 2	17.634	30.887
	供試体 No.		
	Na		
標準荷重強さ (MN/m <sup>2</sup> )	<del>6.9</del> 10.6		
標準荷重 (kN)	13.4	19.9	

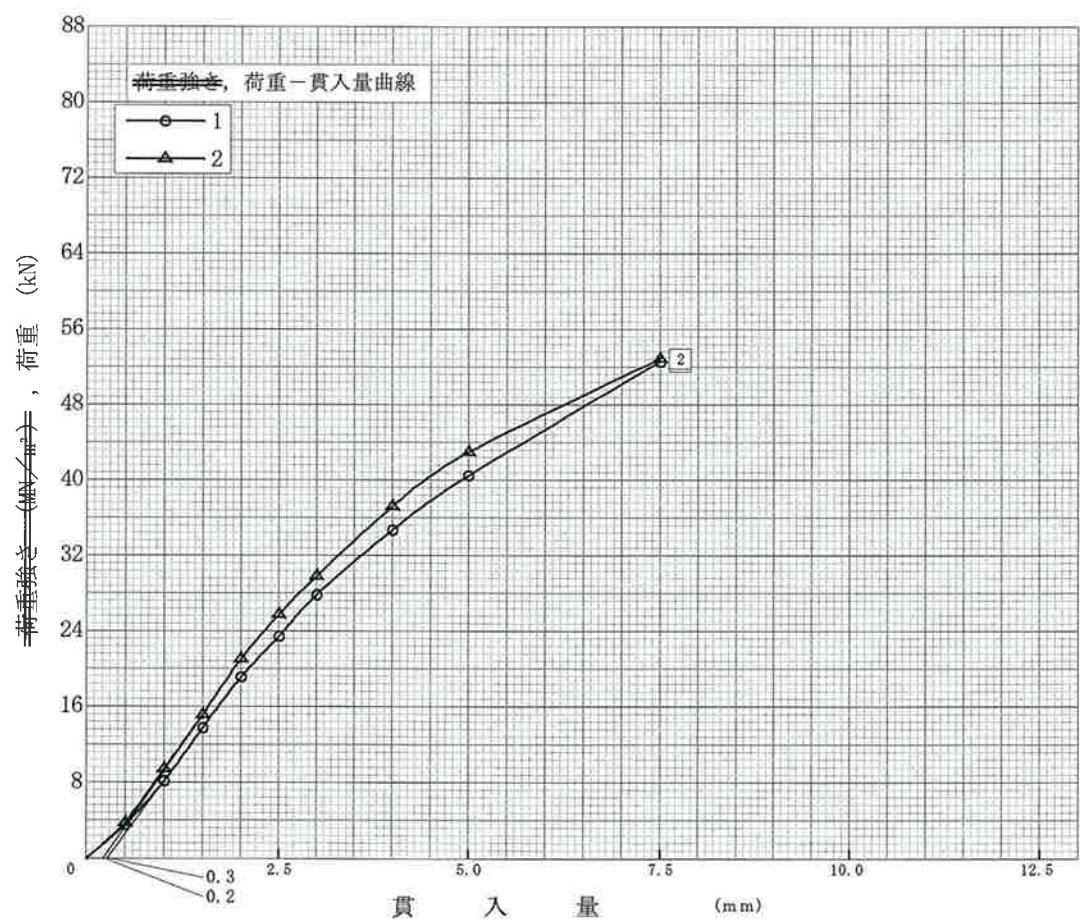


調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工) 試験年月日 2012年 6月 12日  
 下層路盤工の試験施工

試料番号(深さ) 改良土 90日 試験者 小高浜子 小高

試験方法	締固めた土, <del>改良土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	90日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	12.4		12.4	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.979		1.939	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		193.8		205.8	
	貫入量 5.0 mm における CBR %		210.3		220.5	
	C B R %		210.3		220.5	

平均 C B R %
215.4



特記事項  
 1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
 [1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	25.968	41.854
供試体 No. 2	27.583	43.889
供試体 No.		
標準荷重強さ		
— MN/m <sup>2</sup>	<del>6.9</del>	<del>10.6</del>
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2012年 9月 11日

試料番号(深さ) 改良土 180日

試験者 小高浜子



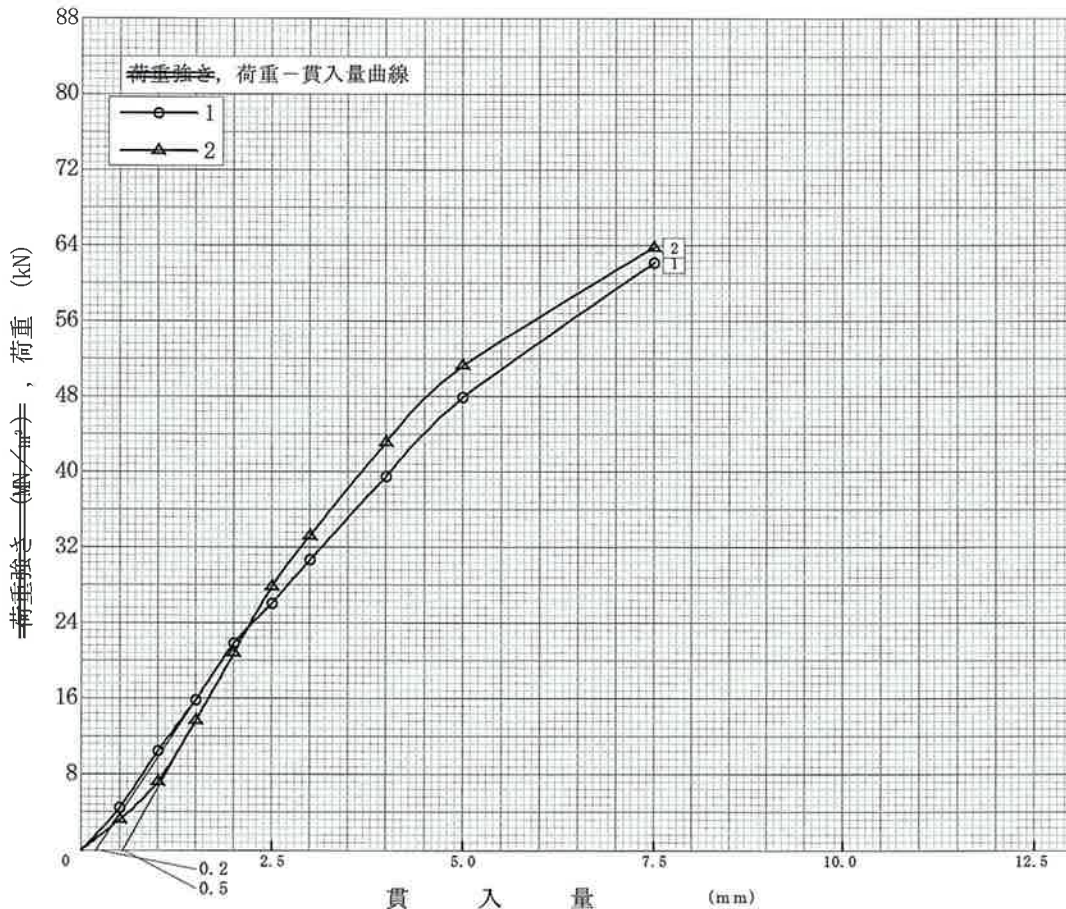
試験方法	締固めた土, <del>養生土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	180日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	12.4		12.4	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.941		1.943	
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
貫入試験		試験後の含水比 $w_2$ %				
		貫入量2.5mmにおけるCBR %	207.4		250.9	
		貫入量5.0mmにおけるCBR %	246.3		271.9	
		CBR %	246.3		271.9	

平均CBR %

259.1

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	27.792	49.012
供試体 No. 2	33.620	54.107
標準荷重強さ		
— MN/m <sup>2</sup>	<del>6.9</del>	<del>10.6</del>
標準荷重 kN	13.4	19.9



JIS A 1211  
JGS 0721

C B R 試 験 (室内試験結果)

調査件名 溶融スラグ倉庫棟外構(舗装工)  
下層路盤工の試験施工

試験年月日 2013年 3月 9日

試料番号(深さ) 改良土 360日

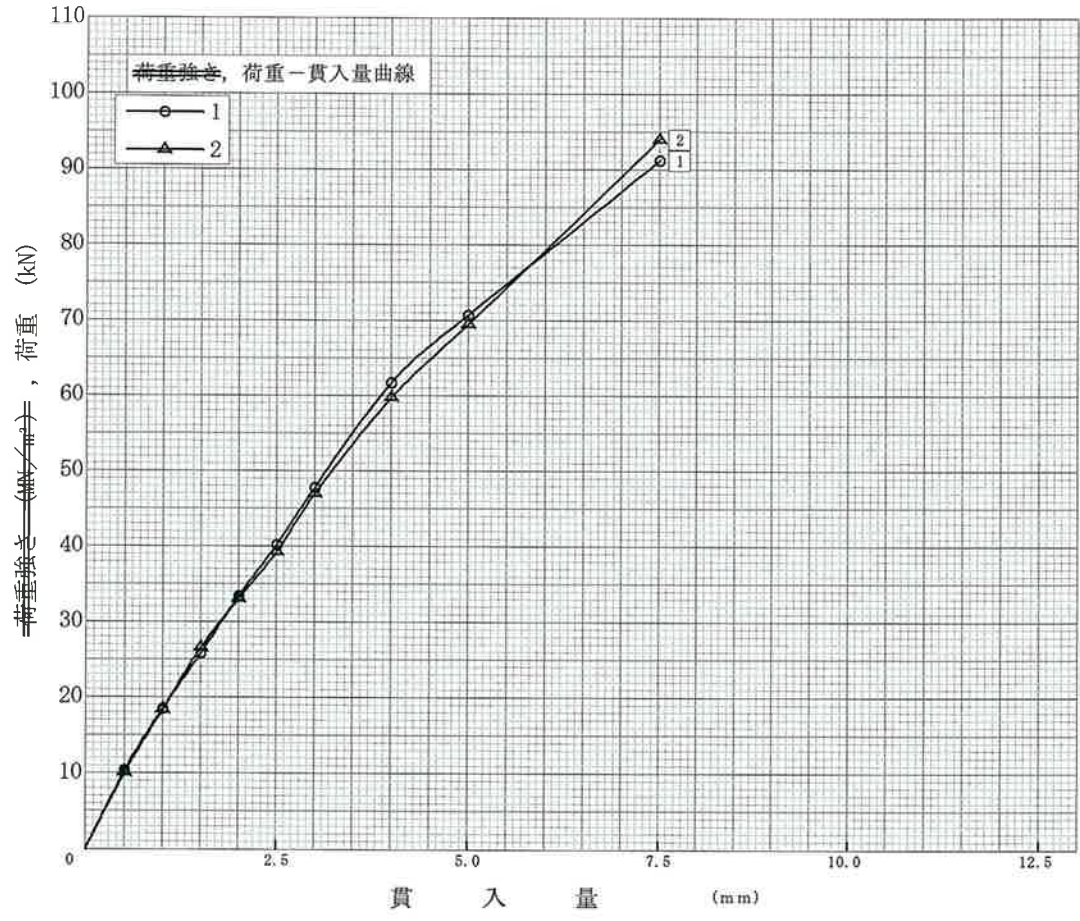
試験者 小高浜子



試験方法	締固めた土, <del>改良土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	設計CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法, <del>空気乾燥法</del>	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	360 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	
供試体 No.		1		2		
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	12.4	12.4		
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.966	1.955		
	後	膨張比 $r_e$ %				
		平均含水比 $w'$ %				
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>				
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %					
	貫入量 2.5 mm における CBR %		300.1	293.0		
	貫入量 5.0 mm における CBR %		355.4	349.1		
	C B R %		355.4	349.1		

平均 C B R %  
352.3

特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No. 1	40.209	70.731
供試体 No. 2	39.268	69.477
供試体 No.		
標準荷重 MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9